

氏名	川名 和美
学位の種類	博士（経営管理）
学位記番号	博甲第三号
学位授与年月日	平成 27 年 3 月 14 日
学位授与の要件	嘉悦大学学位規程第 6 条
学位論文名	中小企業の創業とアントレプレナー・起業家学習—日本の「ローカルコミュニティ起業家」の起業家主体形成と学習システムの関係性—
論文審査委員	主査教授 三井 逸友 副査教授 黒瀬 直宏 副査教授 古川 康一

論文審査の結果の要旨

起業家教育のあり方を論ずる本論は、まず、起業家に関する内外の先行研究をサーベイし、現在の日本の起業家教育における学習の社会性の欠如を指摘する。その上で、高度成長期には社会性のある日本型起業家学習の場として工業高校を中心とするローカル・コミュニティが存在しており、再評価すべきとする。

このローカル・コミュニティが重要なのは、起業家主体の形成に「起業教育」より重要な「起業家学習」が行われ、その中で起業家態度の形成と起業家に必要な「経済資本」「人的資本」「文化資本」「社会関係資本」が形成されるからだとする。

そしてこれを実証するために、呉市「呉工業高等学校」、長井市「県立長井工業高校」、東京都大田区「大森工業高等学校」の教員や企業家卒業生をヒアリング調査し、上記各種「資本」の獲得事実を記述している。

以上の論述には、日本の起業家教育が「起業教育」中心の大学・大学院に偏り、起業家輩出に重要な起業家態度の形成に役立っていないという批判が含まれている。

博士學位論文としては、先行研究の整理と新たな視点・枠組みの設定などの点で評価されるが、実証事例の対象範囲設定と分析の掘り下げ、それにもとづく論旨の検証明示などに不十分なところを残す。研究の「厚み」がほしい。

この枠組み方法にもとづきながら、さらにさまざまな時代・業種・地域などを対象とする比較実証研究を今後積み重ねることを期待する。